

なしの生育予測プログラム なしの収穫期予測～第1報～(6月8日現在)

栃木県農業総合研究センター

農研センターにおける幸水の収穫始は、8月10日(平年より7日早い)と予測されます。

表1 農研センターにおける主要3品種の予測値

品種	収穫始			収穫盛			(参考) 満開日
	本年	平年差	昨年差	本年	平年差	昨年差	
幸水	8/10	-7日	-8日	8/21	-7日	-6日	4/12
豊水	8/27	-7日	-12日	9/9	-7日	-13日	4/11
にっこり	10/6	-2日	4日	10/18	-3日	-2日	4/8

※平年差、昨年差が-は早まることを、+は遅れることを示す

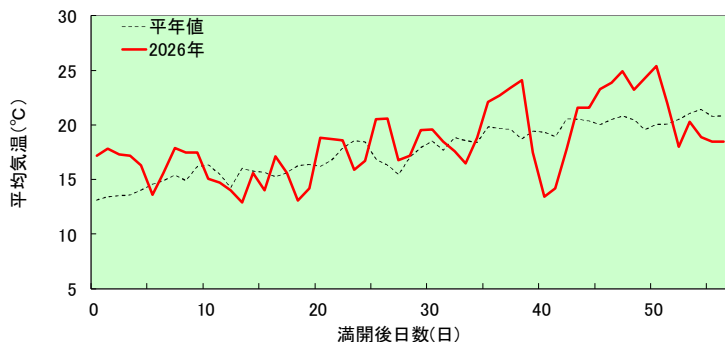


図 幸水満開日以降の日平均気温の推移(農研センター:宇都宮アメダス)

※平年値は直近10年(2016～2025年)の平均値

表2 県内各地における幸水の予測値

地点	収穫始	収穫盛	(参考) 満開日
	本年	本年	
大田原市	8/15	8/24	4/15
高根沢町	8/11	8/17	4/14
那須烏山市	8/11	8/18	4/14
宇都宮市	8/10	8/18	4/14
鹿沼市	8/9	8/18	4/12
芳賀町	8/10	8/19	4/13
栃木市	8/4	8/12	4/9
佐野市	8/2	8/10	4/7
小山市	8/2	8/9	4/8

※予測における収穫の基準は、なし生育診断予測事業の調査基準(カラーチャート1.5～2.0)による。

☆収穫期予測の概要☆

農研センターにおける本年の満開日は、幸水が4月12日、豊水が4月11日、にっこりが4月8日で、平年より2～4日早まりました。

農研センターにおける収穫始めは、幸水が8月10日、豊水が8月27日と、いずれも平年より7日早まる見込みです。

これは、満開後の平均気温が平年より約0.8℃高く推移したことにより、生育が促進されたためと考えられます。

☆気温と成熟特性☆

5月19日に気象庁が発表した3か月予報によると、今後3か月(6～8月)の平均気温は、高くなる確率が70%とされています。

幸水では、気温が高く推移した場合でも成熟日数に大きな差はありませんが、着色が遅れる傾向があるため、注意が必要です。また、収穫1か月前の気温が低く推移した場合は、果肉先熟型となります。

豊水では、7月の気温が低いと熟期が早まり、高いと遅れる傾向があります。今後の気象動向に十分注意してください。

第2報は、7月下旬に発表する予定です。

問合せ先: 栃木県農業総合研究センター 研究開発部 果樹研究室

Tel 028-665-7143